

## ●施術前のカウンセリングをたいせつに

総人口の半数は近視であると言われる日本。当然、顧客の中にもコンタクトレンズ着用者は多くいらっしゃると思います。

## Q : 施術中、お客様には、コンタクトレンズを外してもらいたい？

- A :**
- **コンタクトレンズは施術する前に ( 1 ) いただきます。**
  - **コンタクトレンズケースや眼鏡を持参していただきましょう。**

コンタクトレンズは、大きく分けてハードコンタクトレンズとソフトコンタクトレンズの2種類に分かれています。下記にまつげエクステを装着する前に ( 1 ) 頂く理由をお伝えします。

### ◆ハードコンタクトレンズ (以下、HCL) の場合

- ・HCLは、レンズの ( 2 ) が角膜より小さいためレンズが動きやすく、目を ( 3 ) ときにHCLがずれてしまうことがある。
- ・HCLのレンズは固い素材であるため、もし未熟な施術者が瞼を押さえてしまった場合眼球を ( 4 ) 可能性がある。

### ◆ソフトコンタクトレンズ (以下、SCL) の場合

- ・SCLの素材自体がグルーの ( 5 ) を吸ってしまう危険がある。また、( 5 ) を吸ってしまうとSCL自体も使用できなくなってしまう。

### ◆HCL、SCL 共通

- ・コンタクトレンズの適切なケアができていないまま、サロンに来店された時点で既に不衛生な状態となっていること がある。不衛生な状態によって引き起こされる目の障害の原因がまつげエクステに起因すると誤解される可能性がある。

※以上のような理由により、施術時にコンタクトレンズを装用いただくメリットが特にないため、( 1 ) いただくことを推奨しています。

## ●コンタクトレンズ障害について

近年、コンタクトレンズを原因とした目の障害が急増しています。症状は ( 6 ) を併発するケースが多く、まつげエクステのトラブルと似ています。したがって、まつげエクステ施術後に発症すれば、「まつげエクステをしたから？」という誤解も生まれかねません。コンタクトレンズは、眼鏡に比べ像のひずみや大きさの違いがない、左右に ( 7 ) があっても視力矯正が容易である、視野が広く裸眼と同じように見えるなどメリットも多く大変すぐれた器具です。しかし、非常にデリケートな物であり、「( 8 )」に指定されています。購入する際には眼科専門医の ( 9 ) が必要となり、年に何回かは、( 10 ) を受けなければなりません。

## ●コンタクトレンズ障害の原因

角膜は透明な組織で、( 11 ) がないので ( 12 ) から酸素を取り入れています。それが、コンタクトレンズにより角膜の表面が覆われると、( 12 ) の流れが阻害され酸素を取り入れることが困難になります。現在では、販売されているコンタクトのほとんどが酸素 ( 13 ) の高い素材で出来ていますが、どんなに性能の良いレンズを使っても長時間装用すると酸素 ( 14 ) になることは否めません。酸素 ( 14 ) になった角膜は、傷つきやすく感染性にもかかりやすくなります。コンタクトの種類では、( 15 ) の方が ( 16 ) よりも眼障害が ( 17 ) 化する傾向があります。その理由として、角膜に傷がついた時、( 16 ) の場合は痛みですぐに異常に気が付きやすいのですが、( 15 ) の場合は、装用感の良さから異物感や痛みに気づきにくく、( 18 ) が出にくいということが挙げられます。眼障害の原因は酸素 ( 14 ) の他に、レンズの汚れ、アレルギー、機器の刺激、ドライアイなどがあります。また、医師の処方を受けずにコンタクトを購入した、( 10 ) を受けていない、使用方法を守らない等が該当する方はリスクが高くなります。

## ●コンタクトレンズによる主な目の病気

### ◆角膜（ 19 ）

角膜が酸素不足になると細胞の（ 20 ）が障害され、角膜にむくみが生じます。その場合はコンタクトレンズの使用を中止し、症状の強い時は点眼薬を使用します。その後はレンズケアと装用を適切に行うことに留意し、症状が繰り返す場合はレンズの種類を変更することもあります。

### ◆（ 21 ）

角膜には血管がありませんが、慢性的な酸素不足に陥ると、周辺部から（ 21 ）と呼ばれる血管が伸びてくることがあります。新生血管が生えるとその部分の透明性が失われたり、充血し異物感を生じたりします。睡眠時にも（ 22 ）を装用している人や、長時間の装用をしている人に多い症状です。

### ◆角膜（ 23 ）障害、（ 24 ）

角膜の一番外側の層を（ 23 ）といい、この部分に傷がつくことを（ 23 ）障害といいます。主な原因は、慢性的な酸素不足やレンズに付着した汚れです。（ 23 ）はさかんに新しい細胞が作られているので、コンタクトレンズの装用を中止すれば通常は数日で治ります。しかし、傷から細菌などが侵入することがあります。角膜に微生物が付着し炎症を起こす病気を（ 24 ）といい、重症になる場合もありますので注意が必要です。

### ◆（ 25 ）

細菌などで、（ 24 ）となり治療が遅れると、角膜（ 23 ）の内側にある角膜（ 26 ）にまで障害が及ぶ（ 25 ）を引き起こします。非常に危険な病気で、治療したとしても視力に障害が残ることがあり、失明してしまう恐れすらあります。

### ◆（ 27 ）結膜炎

コンタクトレンズの汚れが原因のアレルギーにより、上まぶたの裏側に（ 28 ）というぶつぶつができ結膜炎が起こります。初期には自覚症状が無い場合もありますが、重症化すると乳頭が大きく（（ 27 ））なり、かゆみ、充血、目ヤニ、コンタクトレンズがずれる、曇るなどの症状がでてきます。治療には、コンタクトレンズの装着を停止し、（ 29 ）点眼薬を使用します。

## ●正しいコンタクトレンズの使用について

### ●コンタクトレンズの購入について

購入については、（ 30 ）の指導と検査を受けた上で、販売管理者が管理する販売店で購入してください。コンタクトレンズの種類によってケア方法は異なります。必ず（ 30 ）の指示にしたがってください。

### ●レンズケアを行う

コンタクトレンズを取扱う時は、必ず手を洗います。コンタクトレンズの（ 31 ）は、レンズを漬けておくだけでは十分な殺菌効果を得ることができませんので、やさしく丁寧に擦り（ 32 ）を行います。また、レンズ（ 33 ）自体も汚れが蓄積していることがあるので、水道水きれいに洗浄し乾燥させる、一定期間で新しい（ 33 ）に取り換えるなどの配慮が必要です。

### ●（ 34 ）を受ける

目に異常が起こっても検査を受けなかったために、症状が悪化するまで気づかなかったという事例は多くあります。自覚症状のまったくない病気でも、検査を受けていれば軽症の段階で発見できます。目に何の異常も感じなくても医師に指示された間隔で（ 34 ）に行くようにしましょう。

### ●カラーコンタクトレンズについて

カラーコンタクトレンズの中には、酸素（ 35 ）の非常に低いものや、コンタクトレンズ内の（ 36 ）が角膜に害を及ぼすものがあります。医師の検査を受けずにこのようなレンズを購入している方は、取り扱いもずさんな傾向があるようです。カラーコンタクトレンズは発売された当初雑貨扱いでしたが、相次ぐトラブルから現在は「高度管理医療機器」に指定されています。したがって、普通のコンタクトレンズと同様慎重な取り扱いが必要です。

## ●トラブルを未然に防ぐために

常に安全で事故のないサロンを続けていくことは、顧客に満足いただくためにとても重要なことです。ご来店前の電話対応でコンタクトレンズ装着の有無を確認しましょう。コンタクトレンズを装着している顧客には（ 37 ）に外していただくこと、安全のため施術後約（ 38 ）時間以内は装着できないことをお伝えし、レンズケース、眼鏡をサロンまでお持ちいただきましょう。また、施術時は常に（ 39 ）な場所にコンタクトレンズを保管して下さい。

問. 空欄に入る正しい言葉を次の一覧から選んで、記号で答えなさい。 ※同じ言葉を何回使ってもかまいません。

記号		記号		記号		記号	
イ	清潔	ロ	乳頭	ハ	色素	ニ	直径
ホ	新生血管	ヘ	最高管理医療機器	ト	自覚症状	チ	血管
リ	涙	ヌ	視力差	ル	軽症	ヲ	巨大乳頭
ワ	施術前	カ	浮揚	ヨ	透過性	タ	定期検査
レ	実質	ソ	角膜感染症	ツ	HCL (ハードコンタクトレンズ)	ネ	半径
ナ	上皮	ラ	揮発成分	ム	SCL (ソフトコンタクトレンズ)	ウ	傷める
ノ	抗アレルギー	オ	2	ク	ケース	ヤ	角膜炎
マ	高度管理医療機器	ケ	洗い	フ	浮腫	コ	処方
エ	角膜潰瘍	テ	消毒液	ア	新陳代謝	サ	外して
キ	医師	ユ	閉じた	メ	不足	ミ	重症

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

----- 解答 -----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
サ	ニ	ユ	ウ	ラ	ヤ	ヌ	マ	コ	タ	チ	リ	ヨ	メ	ム	ツ	ミ	ト	フ	ア

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	
ホ	ム	ナ	ソ	エ	レ	ヲ	ロ	ノ	キ	テ	ケ	ク	タ	ヨ	ハ	ワ	オ	イ	